

「カジノ」ってどうなの？！

カジノとセツトの万博ってどうなの？！

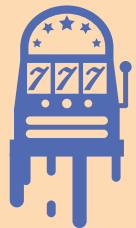


「災」が今年の漢字に選ばれました。地震・豪雨・台風の影響が反映したのです。来年は防災にもっと力を入れてほしいものです。

ところで、万博開催前の2024年にカジノを万博会場の隣で開業させる計画をご存知ですか？

万博の正式な登録申請は2年後で今は仮決定。カジノは来年夏に国の方針を出す段階で、私たち府民が議論する時間があります。ごいっしょに7年後の大阪を考えませんか。

カジノの害は底なし！



どこでやってもダメでしょ！

カジノ業者にとっては、ギャンブル依存症の患者を増やすほど儲かります。韓国では経済的損失が経済効果の4.7倍もあると政府機関が公表しています。

世界最高の「入場規制」と宣伝していますが、ギャンブル依存症の元関脇貴闘力さんは「意味がない」と指摘します(AbemaTV/『みのもんたのよるバズ!』より)。

カジノを作らないことが最大の対策です。



(AbemaTV/『みのもんたのよるバズ!』より)

マスコミからもこんな指摘が...

朝日新聞(11月25日社説)

カジノにはギャンブル依存症の患者を増やす恐れがつきまとう。「命」や「健康」をテーマに掲げる万博と矛盾しないのか。

読売新聞(11月25日社説)

万博とギャンブルを一体的に捉える姿勢は大いに疑問である。



2024年カジノ開業?



マカオにあるラスベガス・サンズ所有のカジノ施設 (wikipedia「ラスベガス・サンズ運営施設」より)



夢洲

(EXPO2025-OSAKA HPより)

2025年万博会場

モナコのように

吉村市長

吉村大阪市長とカジノ企業は息がピッタリ。夢洲をカジノによる歓楽街にしたいのか「モナコのように昼夜を問わず世界中の人が集まるエンターテインメントが楽しめる場所にしたい」と語ります。(毎日新聞12/5付)

えっ... アメリカのカジノ企業からお祝いメッセージ

アメリカのカジノ企業のラスベガス・サンズが大阪万博の決定を受けてお祝いのメッセージを発表、「大阪・関西万博は、統合型リゾートを世界に紹介するプラットフォームにもなる」と万博の舞台でカジノを世界に売り込めると喜びの声をあげています。

12日には早速、松井知事らを表敬訪問しエールの交換が行われました。



(読売テレビ 12月12日放映より)

「大阪万博」に

期待する人も、期待しない人もカジノはノーを!



明るい民主府政

発行/2018年12月20日 第842号 〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階 明るい民主大阪府政をつくる会 TEL.06-6357-5333 FAX.06-6357-5303

Mail akarui@mba.sphere.ne.jp HP http://osaka-akarui.com/

明るい会

検索

「明るい会」は、大阪商工団体連合会、大阪府保険医協会、新日本婦人の会、全大阪労働組合総連合、日本共産党など56の団体・政党で構成しています。

「明るい民主大阪府政をつくる会」は次の見解を出しました。